

平成16年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社 京 葉 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 綿貫 弘一
(コード番号：8544 東証第一部)
問 合 せ 先
責 任 者 役 職 名 常務取締役総合企画部長
氏 名 小島 信夫
電 話 番 号 043-222-2121 (代表)

平成16年3月期 第3四半期情報の開示について

当行の平成16年3月期第3四半期(平成15年10月1日から平成15年12月31日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。単位未満については切り捨てて表示しております。

なお、本で行われた千葉県住宅供給公社の特定調停の申立てに伴う影響も加味しております。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体) (単位：億円) (参考)(単位：億円)

	平成15年12月末	平成15年6月末	平成15年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	440	464	441
危険債権	534	586	553
要管理債権	380	375	381
合 計	1,355	1,426	1,376

(注)上記の各四半期の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先・破綻先の債権)
危険債権(破綻懸念先の債権)
要管理債権(要注意先のうち、元金又は利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

なお、上記債権は、部分直接償却相当額を直接減額した後の残高を記載しております。

2. 自己資本比率（国内基準）

（参考）

	平成16年3月末(予想値)	平成15年9月末(実績)
連結自己資本比率	9.2%台	8.99%
連結Tier1比率	8.2%台	7.99%

(注) 1. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

2. 当行は拠点を国内に限っておりますので国内基準を採用しており、基本的項目のみで国内基準の4%を大きくクリアする見込みであります。また、当行では、公的資金や負債性資本等については、一切取り入れをしておりません。

3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

評価差額

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成15年12月末				平成15年6月末				平成15年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5,580	32	145	112	4,278	15	142	127	5,394	16	121	137
株式	433	0	55	55	368	88	20	109	426	23	43	66
債券	5,137	33	89	56	3,853	106	121	15	4,958	7	77	70
その他	9	0	-	0	57	2	-	2	9	0	-	0

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前。第3四半期は中間期末の償却原価法適用前、減損処理前。）と時価との差額を計上しております。

2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成15年12月末				平成15年6月末				平成15年9月末			
	帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益			帳簿 価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的 の債券	135	1	-	1	125	3	3	-	135	1	-	1
子会社・関連 会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. デリバティブ取引（単体）

(1) 金利関連取引

該当のものはございません。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区分	種類	平成15年12月末			平成15年6月末			平成15年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ 為替予約	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	通貨オプション	6	0	0	2	0	0	9	0	0
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				0			0			0

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引等は、上記記載から除いております。

2. 引き直し対象の先物為替予約、通貨オプション等は、上記に含めて記載しております。

(3) 株式関連取引

該当のものはございません。

(4) 債券関連取引

該当のものはございません。

(5) 商品関連取引

該当のものはございません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当のものはございません。

5. 預金・貸出金の残高(単体)

(単位:億円) (参考) (単位:億円)

(残高)	平成15年12月末		平成15年6月末		平成15年9月末
		対15/6月	対15/9月		
預金	26,342	507	715	25,835	25,627
個人預金	21,747	518	564	21,228	21,183
貸出金	19,050	23	27	19,027	19,023
住宅ローン	5,519	213	103	5,305	5,416

(注) 1. 預金については、譲渡性預金を含んでおりません。

2. 各四半期末の貸出金については、部分直接償却を実施した場合の計数であります。

【預金】

平成15年12月末の預金実績は、個人預金を中心に対15年9月期715億円の増加となり、引続き順調に推移しております。12月1日から12月30日まで実施いたしましたアルファバンクの「ウィンターセレクションプレゼント」も大変ご好評をいただきました。また、「個人向け国債のATMによる販売」を12月10日より、銀行業界で初めて取扱いを開始し、お客様の資金運用ニーズに柔軟に対応できるチャネルが拡大いたしました。

京葉銀行は、これからもお客様重視の経営姿勢を徹底するとともに、お客様のニーズに合った新商品、質の高いサービスをお届けできるよう努めてまいります。

【貸出金】

平成15年12月末の貸出金実績は、1兆9,050億円となりました。新しい中小企業金融への取組み強化に向けて担保・保証に依存しない商品として取扱いを開始しました「BANKビジネスローン」は、平成15年5月の取扱い開始以来8ヵ月間で887件、141億円の実績となり、大変ご好評を得ております。住宅ローンにつきましても、5月より「金利年最大1%優遇キャンペーン」の取扱いを開始し、お申込みも順調に増加しております。

今後とも、地元千葉県の資金を県内のお取引先に還元するという資金の仲介機能を果たしながら創業支援や地元お取引先の発展等千葉県経済の振興と活性化に資するとともに、「お客様から親しまれ信頼される地域のベストバンク」を目指してまいります。

以上

本件に関する照会先
株式会社 京葉銀行
総合企画部 石原・伊藤 043-222-2121